

カンボジア 工場労働者のための子宮頸がんを入口とした 女性のヘルスケア向上プロジェクト

A News letter from SCGO-JSOG Project on Women's Health and Cervical Cancer

No.4 Feb 2016

派遣医師の活動

当プロジェクトでは、プノンペン市郊外の対象となる工場の女性労働者と工場管理者に対して子宮頸がんを入口とした女性の健康に関する啓発活動を行うとともに、現在子宮頸がん検診が開始されている病院での検診・早期治療のできるコアとなる人材を育成し、女性労働者たちが安心して検診をうけられるようになることを目標としています。

1月24日に赴任した西野り子医師は、上記目標の后者、病院での検診・早期治療のできるコアとなる人材を育成することを中心に活動をすすめてきました。

～カンボジアでのコルポ診断のことなど～

一般財団法人全日本労働福祉協会；西野り子

私は1月末より3月初めまで、首都プノンペン市内にある国立3病院で、コルポ診断の実地指導をしました。

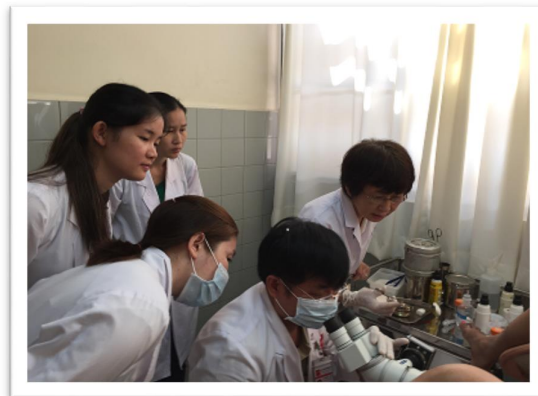
4年前にもプノンペンに滞在したことがあったのですが、今回は市内の様子が急速に近代化していることに驚かされました。カンボジアは近年の経済発展が著しくプノンペン市内には高層ビルが建ち始め、今回の仕事先の病院も2か所は新棟建設中でした。しかし昔ながらのトゥクトゥクといわれるオート三輪タクシーによる交通渋滞や、ずらりと並んだ街角の屋台・活気にあふれる街の様子などは変わらず、「3丁目の夕日」的な高度経済成長時代の日本を思い出します。（こんなことを言うと私の年が知れてしまいますね）



● 婦人科講義

週1回、組織学やHPV感染のなりたちなど、子宮頸がんに関わる基本的なことを題材にスライドを使った講義をしました。3病院をはじめとしたカンボジア産婦人科学会員の医師対象です。暑くて仕事に忙しいなか、毎回大勢の医師が聞きに来てくれたので大変うれしかったです。

また講義中には参加者や私のテーブルの前に水とお菓子が置かれます。カンボジアのスナック菓子・小さい揚げパン・ちまきなど、日本にないお菓子を味見できるので、これも楽しみでした。



● コルポ実地指導

3つの病院に毎日交代で出向き、病院医師達と一緒に外来で細胞診・コルポ診断・生検を行い、またその結果に基づく診療方針の決定をしました。どの医師も熱心で、自分が納得するまでコルポスコープを覗いて、この所見はどうなの？と質問してきます。一人の受診者の方を大勢の医師が交代で診て、それぞれがコルポ所見に納得するまで観察するため、受診者の方にとっては診察台に上がってから30分近くかかることも度々あり、申し訳ないという気持ちになります。

でも、どの受診者の方も検査終了後、オックン(カンボジア語でありがとうの意味)と笑顔で言うので、私も思わず「医師達のために長時間耐えてくださり、こちらこそありがとうございました！」という意味で、オックンとお礼を言ってしまう。



西野医師への感謝状授与式

西野医師の当プロジェクトにおける活動に対し、カンボジア産婦人科学会会長カナル先生より感謝状が贈られました。

3 病院巡回指導では、各病院の医師達が西野医師の来訪を楽しみにしていました。前回指導訪問時に行った細胞診・生検の結果を次回の訪問時に確認したり、前回指導で改善を助言した点が実行されているかどうかチェック出来て、いいサイクルで巡回指導が行われました。

また、毎週火曜日に行われた産婦人科講義はとても好評で、これから派遣される日本人医師の皆様にも、引き続き産婦人科講義を是非行ってほしいと、参加したカンボジア側の医師達より希望が出されました。



工場での意識調査

プロジェクト開始と同時に、工場見学や協議を重ね、今後子宮頸がんに関する啓発活動や検診を行う工場を選定してきました。

まずは、工場労働者の現状を把握するために、工場労働者が子宮頸がんについてどれくらい知識をもっているか、などの意識調査を行うため、まずはプレテストを行いました。3月に本調査を予定しています。

意識調査は、カンボジアの国立公衆衛生院の医師がチームリーダー（日本に留学経験あり）となり、助産師を中心とした15人がチームを組んで行います。

プロジェクトを取り巻く動き

- 1/26～2/26: 西野医師による3 国立病院の巡回技術指導
- 2/1 : SCGO 理事会
- 2/2 : 西野医師による第二回ミニレクチャー
- 2/3 : カンボジア実践部隊医師とアドバイサーチーム
第四回合同会議
- 2/9 : 西野医師による第三回ミニレクチャー
- 2/10 : カンボジア実践部隊医師とアドバイサーチーム
第五回合同会議
- 2/13～2/20 : 藤田則子医師カンボジア派遣
- 2/16 : 西野医師による第四回ミニレクチャー
- 2/17 : 工場意識調査プレテスト
- 2/18 : カンボジア実践部隊医師とアドバイサーチーム
第六回合同会議
- 2/19 : 第二回プロジェクト運営会議
- 2/23 : 西野医師による第五回ミニレクチャー
- 2/23 : 全日本労働福祉協会からのクスコ(陰鏡)贈与式
- 2/23 : カンボジア産婦人科学会から西野医師への感謝状授与式
- 2/25 : カンボジア実践部隊医師とアドバイサーチーム
第七回合同会議

～ミニミニコラム～

2月23日、西野医師の所属先の一般財団法人 全日本労働福祉協会よりクスコ(陰鏡)40個が、カンボジア産婦人学会に贈与されました。西野医師の最終講義に参加していた約30人のカンボジア人医師の出席のもと、贈与式が行われました。贈与式の後に、西野医師よりクスコの正しい使い方の説明がありました。このクスコは、当プロジェクトの柱の一つである工場労働者を対象とした子宮頸がん検診で活用する予定です。

